

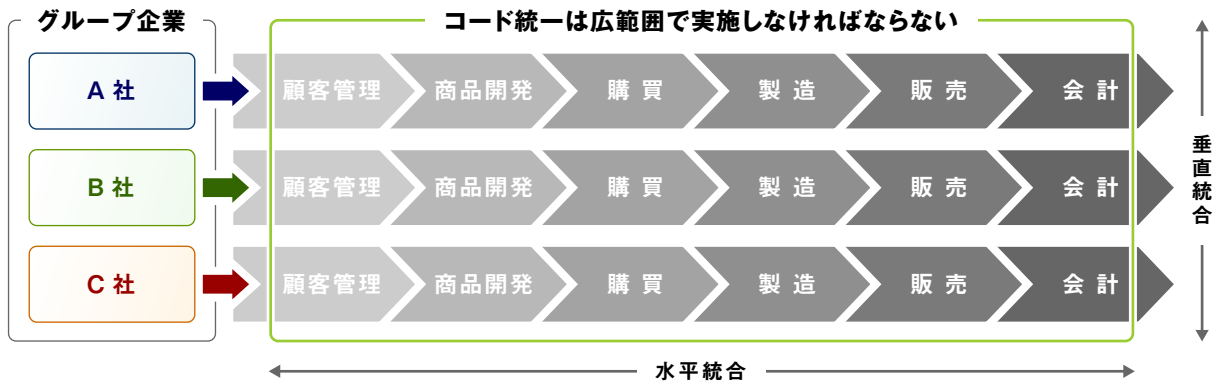
PLAN-MASTERとは、データ総研の600件以上のプロジェクト経験から抽出したノウハウをもとに作成された、コード統一・マスター統合の方法論です。

コード統一・マスター統合の難しさ

コード統一・マスター統合は、その影響が関係企業や業務システムの広範囲にわたります。また、検討事項も新コード体系の検討、新コードにおける新業務の設計、システム連携方法の検討、業務やシステムの移行方法など多くの事項の検討と調整が必要になります。

【難しさの例】

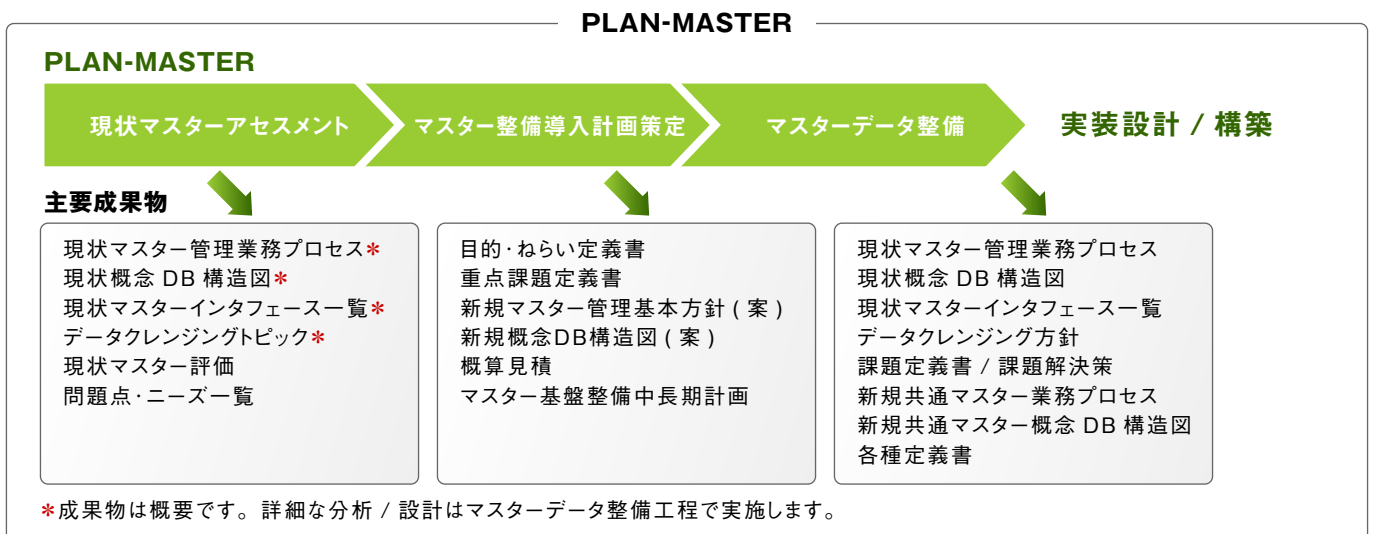
- 範囲が広い / 関係者の調整に気を配る必要がある / 一気に刷新できない
- 意味調整が必要 / 運用ルールの見直しが必要
- 目的、効果が見えづらい / 業務が見えづらい / 現状分析しづらい



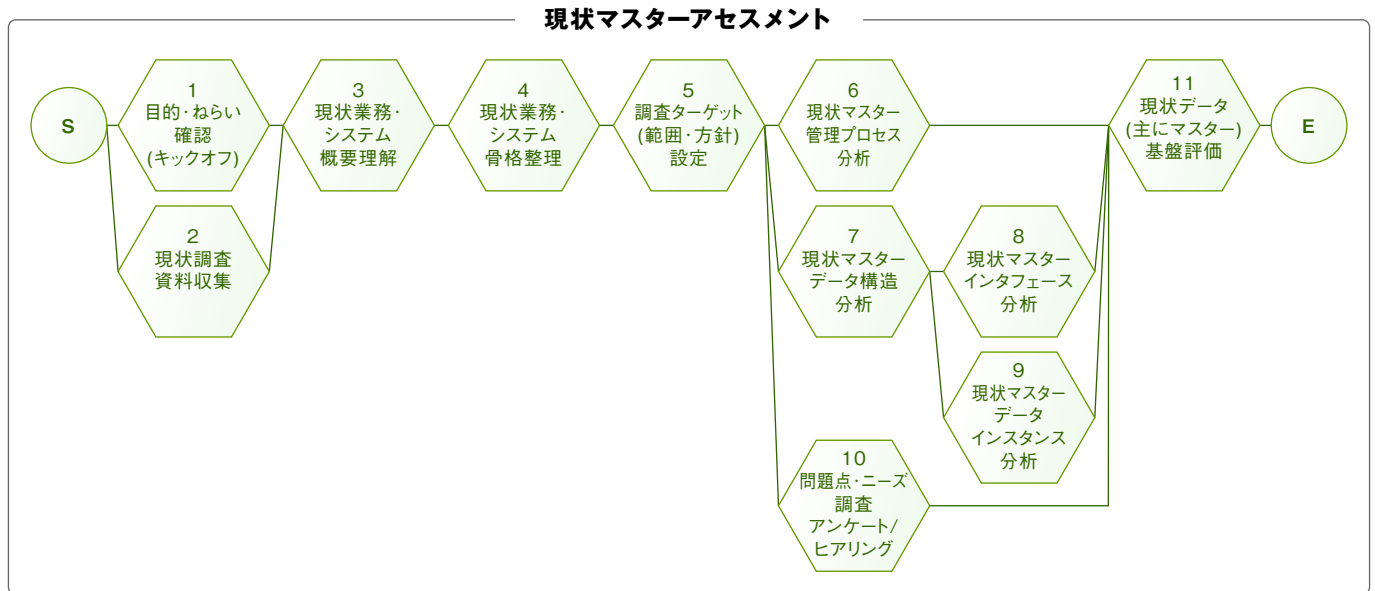
しかし、多くの企業ではそのような経験はわずかしがなく、このような計画を進めるためには、トライ・アンド・エラーになってしまい、次の一手を検討するだけで多くの時間を費やすことになります。

データ総研だからできた方法論

データ総研は、過去600件以上のプロジェクトでのコード統一やマスター統合を経験してきました。PLAN-MASTERは、その数多くの経験とノウハウから、最適な手順を導き出したものです。



PLAN-MASTERで定めるマスター整備作業の概要手順 (現状マスタアセスメント工程のみを抜粋)



上記は PLAN-MASTER の現状マスタアセスメント工程のみを抜粋したものです。
 実際のマニュアルには、それぞれの手順ごとに進め方のポイントや、体制、成果物、成果物サンプルなどが記されています。

PLAN-MASTER 導入の効果

- 検討のボトルネックである検討計画立案がスムーズにできます。
- ビジネススピードに追随可能な、変化に強いコード体系が確立します。
- 運用のための組織やルールまでの検討が可能になります。
- 統合されたマスターを中核にした、安定的な情報システム構造を企画することができます。

お問合せ先: 株式会社データ総研 営業担当 TEL:03-5695-1651 / E-Mail:crm@drinet.co.jp

株式会社データ総研

代表取締役社長 黒澤 基博

1985年創立。データ設計と標準化に特化したITコンサルティングファーム。データ中心アプローチ(DOA)のパイオニアとして知られる。PLAN-DB®、PLAN-CODE®をはじめとする設計技法や開発方法論をベースに、わが国のリーディングカンパニー240社を支援。現在600件を超えるデータ仕様ライブラリを有する。

東京都中央区日本橋小伝馬町4-11 サンコービル TEL:03-5695-1651 FAX:03-5695-1656 <http://www.drinet.co.jp>

※記載の団体名、仕様名などは各社の商標または登録商標です。